

イヴレス(7125)

資本政策により財務面を補強。受託運営事業をサウナやレストランへ水平展開。経済再開による回復に期待。

TOKYO PRO Market | ホテル向け客室備品提供 | 業績フォロー

BLOOMBERG 7125:JP | REUTERS 7125.T

- 22/10通期は売上高が前期比9.4%減の971百万円、営業利益が▲97百万円、経常利益が▲93百万円、当期利益が▲99百万円と減収赤字拡大。
- 負債調達(総額80百万円+未実行融資枠65百万円)と増資(総額121.2百万円)により経営資金源を確保。65百万円の資本金減資を実施。
- 東京新宿の新規宿泊施設の受託運営開始および同施設でのサウナ提供開始。ミシュラン掲載店元総料理長を起用したレストランの受託運営を開始。

What is the news?

12月22日発表の22年通期は、売上高が前期比9.4%減の971百万円、営業利益▲97百万円、経常利益が▲93百万円、当期純利益が▲99百万円と、減収・前期からの赤字幅拡大。セグメント別の売上高は、①ホテル客室備品事業が484百万円(前期比8%増)、③ホテル受託運営事業が465百万円(同12.5%増)と収益が増加したものの、②ホテル開発支援事業は小型案件中心となり、同89%減の21百万円となった。セグメント損益は、①ホテル客室備品事業が▲57百万円(前期実績▲58百万円)と②ホテル開業支援事業▲29百万円(同▲36百万円)と赤字幅縮小した一方、③ホテル受託運営事業は前期12百万円から▲21百万円へ赤字転落。

成長に向けた先行投資を支える資金調達面では、22年7月に30百万円、9月に50百万円の長期借入を実施し、残65百万円の融資枠を確保した。また、財務基盤強化に向けて21年11月に91百万円、22年10月に30百万円を第三者割当増資にて調達し、発行済み株数は前年の58万株から63万500株へ増加(払込金額は1株2400円)。更に、10月に65百万円減資して資本金を50百万円とした。

熱海、伊豆高原、沖縄の既存3施設の運営は継続しつつ、新規案件として、昨年11月からyski SAUNA&STAYにて宿泊施設とサウナを受託運営開始した。ミシュラン掲載ホテル元総料理長のシェフを起用したaisance BRASSERIE&CAFÉの運営開始。計5施設の受託運営として継続的な収益源を確保している。

イヴレスコンサルティング合同会社を新設し、客室備品事業の延長にあった広告コンサルティング、SNS運用代行サービス「Postayle(ポストイル)」を移行継続。

How do we view this?

コロナ終息時期の不透明さなどから、来期計画の合理的な算出が困難であるとし、23年10月期連結業績予想は未定とした。中国の経済再開によるインバウンド需要回復や国内における新型コロナウイルス感染症の5類への指定変更を機に収益計画見通しが立てば、損益状況および財務面と事業面の安定性の問題に係る継続企業の前提に関する疑義・不確実性の解消が期待される。

各セグメントは物販や備品供給、コンサルティング収入や施設オペレーション利益など、収益源の性質に違いはあれども、経済再開による観光需要回復があれば、売上や利益水準は運動して正常化していくものと想定される。

高付加価値の旅行体験提供による顧客単価向上、併設施設運営等による経営ノウハウ水平展開により受託案件積増しと継続的な収益源確保が見込まれよう。

業績推移

事業年度	2020/10	2021/10	2022/10	2023/10F*
売上高(百万円)	1,036	1,072	971	-
経常利益(百万円)	43	-63	-93	-
当期利益(百万円)	2	-65	-99	-
EPS(円)	5.05	-112.93	-162.24	-
PER(倍)	475.25	-21.25	-14.79	-
BPS(円)	137.32	24.39	55.66	-
PBR(倍)	17.48	98.40	43.12	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

* 22年12月発表の決算短信にて、23年10月期の業績予想は未定とされた。
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)



フィリップ証券
A Member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 2,400 2023/2/8(基準値)

会社概要

1990年に代表取締役社長の山川景子氏が前身となる書籍出版会社を設立。98年にイヴレスに商号変更し、宿泊施設の客室備品・消耗品の企画販売を開始。2017年に東京オフィスに移転後、客室備品等の調達代行事業(Purchasing Agent)と開発支援業務を開始。以後、受託運営やECなどに事業領域を広げてきた。21年7月TOKYO PRO Marketに新規上場。

現在の主要な事業セグメントは以下3種

①「ホテル客室備品事業」:客室備品やアメニティ等を宿泊施設に企画提案・販売。オーダーメイド製作やアメニティの継続納入も行う。全国の宿泊施設に導入実績あり。企画商品の一般向け販売をEC事業にて行う。SNS・広告コンサルティングは22年新設のイヴレスコンサルティング合同会社にて継続。

②「ホテル開業支援事業」:不動産デベロッパーや物件オーナーを対象に開業時の家具・備品等の一括調達を代行するPA事業が主軸。開業支援コンサルティングや、開業後の運営受託に移行する場合あり。

③「ホテル受託運営事業」:イヴレスホスピタリティ合同会社にて提供。不動産デベロッパーや物件オーナーからリゾートホテル等の宿泊施設の運営を受託し、運営利益の一部を受け取る仕組みである。現在、UMITO VOYAGE ATAMI(静岡県熱海市)、UMITO Salon IZU(静岡県伊東市)、UMITO PLAGE The ATTA(沖縄県恩納村)、yski SAUNA & STAY(東京都新宿)の計4宿泊施設を運営。施設内での飲食店やサウナ運営も受託。aisance BRASSERIE & CAFÉにて飲食店運営も開始。

企業データ



(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

大株主・主要株主(2023/1/27)

株主名	(%)
1.アヴィ株式会社	65.82
2.山川 景子	17.43
3.浮舟 邦彦	4.76
4.合同会社ユーブランニング	4.69
5.山川 徳久	3.17

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

三角 友幸

tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: リサーチ部 三角友幸

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っていません。